

## 第37回子ども・子育て分科会後にいただいた意見について

### 1. (資料3～4) 現状分析について

No.	ご意見・ご質問内容	回答等
①	<p>【資料3 P.1～2】 本市人口の推計について、国勢調査を出所とした「平成2年頃の約43万人（433,164人）をピークに…」とあるが、</p> <p>第2期プランの冊子では、住民基本台帳を出所とした「平成5年頃（439,280人）をピークに…」と記載がある。</p> <p>基本となる数値なので、出所が変わった場合は、その理由と、国勢調査なり住民基本台帳に換算した場合の数値を示すべきと考える。</p>	<p>ご指摘のとおり、同じ人口でも今回の資料では、<u>国勢調査の人口</u>を、第2期プランの冊子(3頁)は、<u>住民基本台帳登載人口</u>を掲載しています。</p> <p>これは、以前の本市「将来推計人口」が住民基本台帳登載人口を基に作成したものであったのに対し、<u>現在の本市で公表している「将来推計人口」は国勢調査をもとに作成したものに<u>変更されているため</u>、その推計方法にあわせたものです。</u></p> <p>なお、国勢調査の人口と住民基本台帳登載人口は、元々の算出方法が異なるため、それぞれ換算することはできませんが、その違いは以下のとおりです。</p> <p><b>【国勢調査の人口】</b> 5年毎に国が行う「国勢調査」で、住民票の届出に関係なく、普段住んでる人を調査</p> <p><b>【住民基本台帳登載人口】</b> 住民票の届け出に基づく住民の数（普段は市外に居住している人でも、住民票が横須賀にあればカウント）</p> <p>また、それぞれの推移は別添1をご覧ください。</p>
②	<p>【資料3 P.4】</p> <p>「…要因は未婚化・晩婚化」とあるが、経済的な理由も多いように調査結果であらわれていると感じた。</p> <p>また、未婚で産む人がいても受け入れる社会になると特殊出生率は変わるのではないか。</p>	<p>ご指摘のとおり、ニーズ調査（未就学児問17-1、小学生問16-1）でも、お子さんの数が理想に比べて少ない理由として「<u>金銭面での負担がある</u>」との回答が60%以上ありますので、ニーズ調査の分析時に併せて要因の一つとして記載させていただきます。</p> <p>また、ひとり親家庭等への支援についても、重要な課題の一つと考えています。</p>

No.	ご意見・ご質問内容	回答等
③	<p>【資料3 P.10】</p> <p>「…女性の社会進出の増加による影響」とは、いつの時代のことかと思った。約30年前に専業主婦より兼業主婦が増えている。未婚なのは結婚する意味（必要？）を見出せないからではないか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 約30年前と現在を比べましても、資料3 P.21のとおり、特に女性の30～34歳では就業率が39.1%→60.0%と上昇しているため、少なからずその影響もあるのではと考えています。</p> <p>ただ文言については、「女性の社会進出の増加」から、より適切と思われる「女性の就業率の上昇」に修正させていただきます。</p>
④	<p>【資料3 P.14】</p> <p>仕事にやりがいをもっているのに男女差はないと思う。 避妊等は性教育で教えられても、妊娠しにくいこと（しない可能性や無排卵月経も）は情報があふれているようで知らない人が多く、気づいた時には50代ということもあるのではないか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
⑤	<p>不登校児童・生徒について知りたい。 （いずれ8050（7040）問題、税にも関わってくる。義務教育後は分からなくなるから）</p>	<p>別添2をご覧ください。</p>

## 2.（資料5）区域設定について

No.	ご意見・ご質問内容	回答等
①	<p>5分割の仕方がそれぞれの考えで異なるのだと思うのだが、児童相談所主催の会議では、①追浜・田浦、②逸見・本庁は同じで、③衣笠・大津、④浦賀・久里浜・北下浦、⑤西 としている。</p> <p>同様にしてほしい、というのではない。どちらにせよ①・②に手厚い印象がある。</p>	<p>③～⑤については、日頃から教育・保育施設等に預けて出勤等のシチュエーションを考えると、本市の交通事情（鉄道網など）を踏まえた、現状のエリア分け（③浦賀・大津、④北下浦・久里浜、⑤西・衣笠）に一定の合理性があると考えています。</p> <p>また、残りの①②についても、地理的な位置や規模などを考慮すると、やはり現状のエリア分けが適切と考えています。</p>

3. (資料6～12) ニーズ調査等速報値について

No.	ご意見・ご質問内容	回答等
①	<p>【資料7 P.15】</p> <p>問23の注に「…主任児童委員の方が…実施する」とあるが、正しくは民児協・地区社協の主催である。主任児童委員連絡会で子育てサロンカレンダー（年2回）は発行している。</p> <p>人やイベントに合わせてたり教えてもらったりするより、自身の都合いいものを利用したいという考えをもっている親御さんが多いと感じた。</p>	<p>大変申し訳ありません。 今回の調査は終了してしまいましたが、次回以降の調査で修正を反映してまいります。</p>
②	<p>【資料7 P.35～39】</p> <p>「育児休業について」 問32-1-1、32-2-1の追加により、アンケートで市内勤務者と市外勤務者における育児休業の取得状況の差異が比較できると思う。</p> <p>より体系的に分析するため、本設問をもとにクロス集計することにより、本市における育児休業取得推進の現状と課題が見えてくるものと思う。</p>	<p>ニーズ調査結果報告書において、クロス集計結果を掲載いたします。</p>
③	<p>子育ての悩みより、居場所と経済的支援を欲していると感じた。</p>	<p>ありがとうございました。 多くの方にご協力いただいた今回の回答をより計画策定に活かせるよう、努めてまいります。</p>
④	<p>アンケートの回収率に正直驚いた。（就学前や小学生は4割）子育てに関心と希望が強い現れと思った。</p> <p>就学前と小学校低学年に重きをおいて子育ての支援や希望のくみ取りをしていくことが、横須賀市の暮らしやすさ、子育てのしやすさにつながると思った。</p>	<p>ありがとうございました。 多くの方にご協力いただいた今回の回答をより計画策定に活かせるよう、努めてまいります。</p>